

環境化学物質の生物影響と沿岸域に おける挙動に関する研究

大地 まどか

生物影響に関する研究

沿岸域で船舶等の防汚塗料として使用されてきた有機スズ化合物は、使用が規制された現在も沿岸域で検出されているが、生物影響については不明な点が多い。



小型甲殻類を用いた生物影響評価手法を確立し、環境レベルの有機スズ化合物が様々な生物影響を及ぼすことを明らかにした。

生態学的特徴を考慮した 環境化学物質の蓄積特性

水生生物の環境化学物質の蓄積特性については、生態学的特徴を考慮した研究はこれまでほとんど行われていない。



回遊魚を対象とした研究手法を確立し、生活史に依存した詳細な有機スズ化合物の生態系攪乱機構を明らかにした。

今後の課題

- ・これまでに確立した生物影響評価手法を用いて様々な環境化学物質の生物影響を解明するとともに野外調査を行い、その挙動を解明する。
- ・生態学的特徴を考慮した環境化学分析により、より詳細な環境化学物質の蓄積特性を解明する。